今日の学習のポイント（9/18）

# ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ（1573-1610 ）イタリア

徹底した写実性と劇的な　明暗　対比や感情表現で、バロック絵画の形成に多大な影響を与えた。その作品は極端ともいえる自然主義に貫かれており、演劇の一場面のような人体のダイナミックなポーズや強烈な明暗法の　キアロスクーロ　などが使用されている。その強烈すぎる表現は品位に欠けるとして非難を浴びることも多かった。

# レンブラント・ファン・レイン（1606 - 1669）

ネーデルラント（オランダ）の画家。カラヴァッジオのキアロスクーロの影響を色濃く受けつつも、それらを自らの技法として昇華し　　光の魔術師　　と呼ばれた。その異名が示す通り光をマッス（塊）で捉えるという独特の手法を編み出した。油彩だけでなく、エッチングや複合技法による銅版画やデッサンでも数多くの作品を残した。

# ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ（1598-1680）イタリア

17世紀のイタリア・バロック美術の彫刻家、建築家、画家。その活躍は画業にまで及び、そのどれもが規範にとらわれない自由で感覚的な表現であった。ミケランジェロに強く影響を受けているが、その作品にはミケランジェロにはない肉体と精神、　運　動　　性と感情の一致が示されており、古典美術を賛美しながらも独自の様式を確立した。

# ヨハネス・フェルメール（1632-1675）オランダ

17世紀オランダ・バロック絵画において最も傑出した画家のひとり。調和のとれた明瞭な色調や、簡素かつ静謐（せいひつ）でありながらも綿密に計算された均整のとれた空間構成、反射やハイライト部分などを点描によって表現するポワンティエ、写実性の高い描写など、現代においても極めて評価が高い。また、作品の制作に

　カメラ・オブスキュラ　を用いるなど、当時の工学や透視図法の研究を取り入れたと考えられている。

# ディエゴ・ベラスケス（1599-1660）スペイン

バロック期に活躍したスペインの　宮廷　画家。1623年国王フェリペ４世付きの画家となり、以後生涯の大半を宮廷画家として首都マドリッドで過ごす。ルーベンスとの交流や、2度にわたるイタリア旅行から古典主義と空間表現を学び、視覚効果を重要視したスペイン絵画独自の写実主義的陰影法を発展させた。宮廷画家として国王一家を始め、多くの宮廷人や知識人を描いたが、どのようなモデルをも冷徹に見つめ、人物の内面まで表現する筆力が特長である。

# ジャック＝ルイ・ダヴィッド （1748-1825） フランス

18世紀フランス　　新古典　　主義最大の巨匠。厳格で理知的な構図・構成と非常に高度な写実的描写、そして運動性の少ない安定的場面展開などを用いた絵画を制作しフランス絵画界に新古典主義を確立させた。また歴史的主題における英雄的性格なども同主義の典型として位置付けた。フランス第一帝政時代にはナポレオンに認められ首席画家となるものの、ナポレオン失墜後はベルギーに亡命した。大規模な工房を構え、アングルなど後の新古典主義を担う若い弟子を数多く育てた。

# キアロスクーロ

イタリア語で　明　-　暗　という意味で、美術においては、明暗のコントラスト（対比）を指す。それを用いた技法が「明暗法」「陰影法」である。絵画においては、作品全体に影響を及ぼすような大胆な明暗のコントラスト、および、それを作品の構成に用いる技法をいう。

# バロック

16世紀末から17世紀初頭にかけイタリアで誕生し、ヨーロッパの大部分へと急速に広まった美術・文化の様式である。バロック芸術は秩序と運動の矛盾を超越するための大胆な試みとしてルネサンスの芸術運動の後に始まった。カトリック教会の対抗改革（反宗教改革運動）や、ヨーロッパ諸国の絶対王政を背景に、影響は彫刻、絵画、文学、建築、音楽などあらゆる芸術領域に及び、　誇張された動き　、凝った装飾の多用、強烈な　光の対比　のような劇的な効果、緊張、時として仰々しいまでの豊饒さや壮大さなどによって特徴づけられる。18世紀後半には新古典主義へと移行した。「バロック」の語は　　歪んだ真珠　　を意味するポルトガル語「バローコ」に由来するといわれる。



# カメラ・オブスキュラ

「暗い部屋」の意味。素描を描くために使われた光学装置のこと。小さな針穴を通して外の風景の一部分から光が穴を通り、穴と反対側に像を結ぶというもの。その像をなぞることで正確な遠近法の絵を描くことができた。

# http://art.pro.tok2.com/B/Boucher/bouc01%5B1%5D11.jpgロココ美術

　バロックに続く時代の美術様式を指す。18世紀ルイ15世統治下のフランスを中心に欧州各地を席巻した　優美　　な装飾様式。曲線を多用した　装飾　　性の高い形体・明瞭かつ軽快な色彩、優雅でありながら甘美性も備わる表現、雅宴画と呼ばれる独自の絵画様式などが特徴。

＜ブーシェ“水浴のディアナ”＞

# 新古典主義

18世紀中ごろから19世紀初頭にかけて、西欧で建築・絵画・彫刻など美術分野で支配的になった芸術思潮を指す。それまでの装飾的・官能的なバロック・ロココの流行に対する反発を背景に、より確固とした荘重な様式を求めて古典・古代、とりわけギリシャの芸術が模範とされた。フランス革命や　　　　　　　　　の登場によって古典の英雄主義的な主題はさらに好まれるようになった。